

「府中 浅間山四季の花々」の利用について

この「府中 浅間山四季の花々」は、浅間山自然保護会の著作物です。実際には冊子として印刷されていて、奥付には「不許複製」とあり、販売もされているものです。

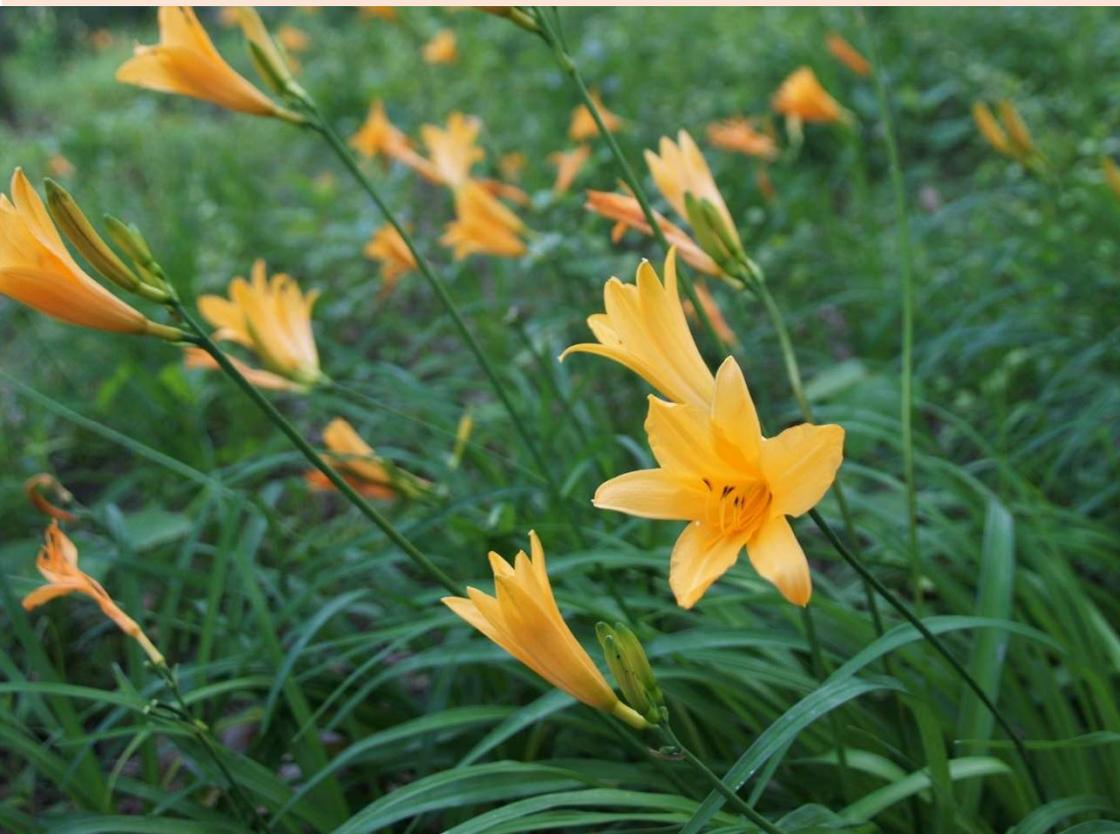
それを、このようにPDF化して本会のホームページに掲載することについては、同会代表の山田義夫氏より、「浅間山自然保護会としては、浅間山の自然と私どもの保護活動について広く知っていただくことに意味があると考えています。多感な小学生の教育のためにも、浅間山の自然観察にご活用ください。」とお言葉を賜り、特別にお認めくださったことで実現しました。どうぞこの趣旨をご理解ください。

したがって、ご利用についてはあくまでも個人の範囲にとどめ、コピー、印刷、改変、販売、SNS等への投稿、ホームページへの掲載といった2次利用は、厳にお控えください。

東京私立初等学校協会理科研究部会

児童実技研修会「親子で自然を楽しむ会」

府中
浅間山
四季の花々



浅間山自然保護会

せんげんやま
ようこそ浅間山へ

浅間山は、府中市の北東部多磨霊園に隣接した府中市唯一の山で、堂山、中山、前山の三つの頂を持ち、最も高い堂山は海拔79.6m、周囲の市街地との標高差は約30mです。全体が都立浅間山公園になっています。

堂山には浅間神社があり、浅間山の名称の由来になっています。コナラやクスギ、ヤマザクラ、シデ類などの雑木林のなかに、春は日本で唯一自生しているムサシノキスゲをはじめ、キンラン、ギンランなどの野生ランが彩り、夏はヤマユリが芳香を漂わせ、秋には木々や果実が色づき来園者を迎えています。

四季折々、いろいろな姿を見せてくれる浅間山は、ここが街中の公園かと驚かされます。

都立浅間山公園概略

場所：府中市浅間町4丁目および若松町5丁目

開園：昭和45年6月1日

面積：87,694 m²

交通：

京王線 東府中駅から武蔵小金井駅行バス 浅間山公園下車
東府中駅から徒歩20分

中央線 武蔵小金井駅から東府中駅行バス 浅間山公園下車

目 次

案内図	2
園地案内	4
浅間山の代表的な花	5
春 3～6月に咲く花	13
夏 5～10月に咲く花	23
秋 7～11月に咲く花	33
樹木 花と果実	43
索引	56

園地案内



堂山頂上



堂山 浅間神社



中山頂上



中山 おみたらし神社



前山頂上



前山 人見四郎墓跡



あずまや



前山 富士見百景



浅間山の
代表的な花

ムサシノキスゲ 武蔵野黄菅

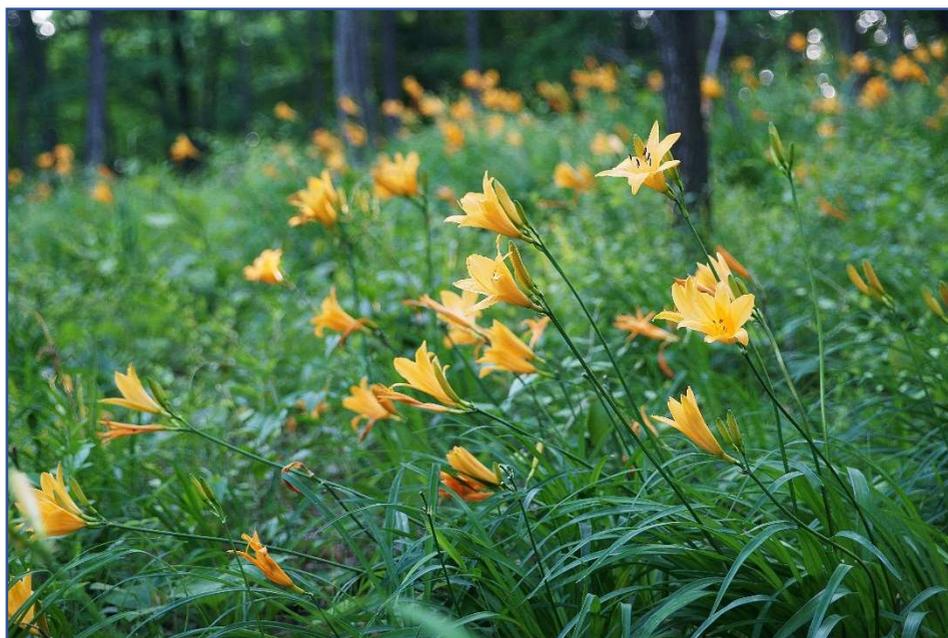
科名: ススキノキ科

花期: 4月下旬～5月上旬

日本で唯一浅間山に自生している大変貴重な植物。多年草。高さ 50～80 cmの花茎を葉の間から出し、先端に2～4個の橙黄色の花を毎日ひとつずつ咲かせ、翌日の午前中にはしぼんでしまう。

近縁種のニッコウキスゲと見分けられないほど酷似している。強いて相違点をあげれば、開花時期が早い、花がやや上向きに咲く、花にかすかな香りがあるという程度。

武蔵野にあるニッコウキスゲということから名付けられた。



キンラン 金蘭

科名:ラン科

花期:4月下旬～5月上旬

山地や丘陵のやや明るい林床に生える多年草。高さ 30～70 cm の茎の先に長さ 1.5 cm ほどの黄色い花を数個から十数個総状につける。花は晴れた暖かい日に半開し、その華やかさに魅了される。

キンランなどの野生ランは、菌根菌と共生しており、人工栽培は極めて困難。

ほぼ全山に分布、堂山に群生している様は見事である。



ササバギンラン

笹葉銀蘭

科名:ラン科

花期:4月~5月

山地や丘陵の林床に生える多年草。高さ 30~50 cmで先端に長さ1.3 cmほどの白い花を5~10 個つける。花は全開することなく晴れた暖かい日にわずかに開く程度。葉が花より高くなるのが特徴でギンランと容易に見分けられる。

ほぼ全山に分布しているが数は少ない。



ギンラン 銀蘭

科名:ラン科

花期:4月~5月

山地や丘陵の林床に生える多年草。高さ 10~20 cmで先端に長さ 1 cmほどの白い小さな花を 3~5 個つける。

キンランやササバギンランより小ぶりで清楚な姿は愛好家のあいだで人気がある。

前山で比較的多く見られる。



ヤマユリ 山百合

科名:ユリ科
花期:7月

山野に生える多年草。日本特産のユリである。地中の鱗茎は径10 cmになる。茎は高さ1~1.5mになり、径15~20 cmの大輪の花が斜め下向きに開く。花は白色地に赤褐色の斑点と黄色いすじが入り、強い芳香をあたり一面に漂わせる。

ヤマユリはイノシシの食害にあい各地で数を減らしているが、浅間山ではその心配はない。



イチヤクソウ 一葉草

科名:イチヤクソウ科

花期:6月

低山の林内に生える常緑の多年草。

細い地下茎を這わせ、その先に数枚の葉を束生させる。葉の裏が赤いのが特徴。葉の間から高さ 20cmほどの茎を直立させ、白い花をらせん状に3~10個下向きにつける。

名前は、乾燥したものを、脚気などの民間薬に使用したこと由来する。

前山尾根道際でよく見られる。



ハンショウヅル 半鐘蔓

科名:キンボウゲ科
花期:4月~5月

山野の林縁や林内に生えるつる性の低木。他の木や草に絡み生長する。茎は暗紫色を帯びることが多い。長さ6~12cmの花柄の先端に、長さ4cmほどの紅紫色の花を下向きに咲かせる。この花の形が、火事を知らせる半鐘の形に似ていることから名付けられた。

同じ仲間のクレマチスほどの華やかさはないが、この素朴な花をめあての来園者もいるほどの人気種。



種子



コウヤボウキ 高野箒

科名:キク科

花期:9月~11月

山野の林縁などに生える高さ 50 ~100 cmの落葉小低木。一年枝の先端にうすい桃色がかった白い花を1個つける。二年枝には一年枝に花を咲かせ、果実を实らせる役目がある。

秋には花は枯れてタンポポの綿毛のような種ができ、風によって散布される。

和歌山県の高野山でこの枝を束ねて、箒を作ったことから名付けられた。



春





ノゲシ 野芥子

科名:キク科

花期:3月～8月

畑や道ばたなどにごく普通に生える1～2年草。

春から秋にかけてタンポポのような黄色い花をつける。茎は50～100cmで柔らかく中空。葉も柔らかく、茎を抱いているのが特徴。別名ハルノゲシ。



オニノゲシ 鬼野芥子

科名:キク科

花期:3月～8月

野原や荒地などに生えるヨーロッパ原産の2年草。

高さは1mほどで、径2cmの黄色い頭花をつける。葉は厚くふちに鋭い棘があり、ノゲシより全体に荒々しい感じがする。



キジムシロ 雉薺

科名:バラ科

花期:3月～4月

山野に普通に生える多年草。茎は根元から放射状に広がり、先端に黄色い5弁花をつける。茎や葉が丸く広がる様を雉が座る筵に見たてて名付けられた。前山の西側や中山に見られる。



カントウタンポポ 関東蒲公英

科名:キク科

花期:3月~5月

関東地方に多い多年草。最近セイヨウタンポポに押され少なくなりました。

セイヨウタンポポと違い、総苞片が反りかえていないので容易に区別がつく。



セイヨウタンポポ 西洋蒲公英

科名:キク科

花期:3月~6月

ヨーロッパ原産の多年草。明治時代に野菜として栽培されていたものが野生化したといわれている。一年中花を咲かせ、繁殖力は旺盛で日本のいたるところで勢力をのびしている。



ミツバツチグリ 三葉土栗

科名:バラ科

花期:4月

山野の日あたりのよいところに生える多年草。高さは15~20cmになり、根もとから走出枝(ランナー)を出し、その先に小株を作って繁殖する。葉は長さ2~5cmの3枚の小葉からなり、径1~1.5cmの黄色い5弁花をつける。



シュンラン 春蘭

科名:ラン科

花期:3月~5月

山野の落葉樹林内に生える常緑の多年草。高さ10~25cmの花茎は、葉より低く、その先端に4~5cmの淡黄色の花を1個つける。唇弁に紅紫色の斑点がある。別名ジジババの名前で親しまれている。



タチツボスミレ 立坪堇

科名:スミレ科

花期:3月~5月

日本のスミレの代表種。人家周辺から山野まで普通に見られる多年草。比較的早くから開花する。高さ5~15cm、花茎の先に淡紫色の花をつける。花後、更に茎はのびて30cmに達する。



ツボスミレ 坪堇

科名:スミレ科

花期:4月~5月

山地のやや湿った草地に生える多年草。茎は根もとから枝を分け株立ちになり高さ10~20cmになる。花は径1cmくらいの小さな白い花で、唇弁に紫のすじがある。別名ニョイスミレ。



アマナ 甘菜

科名:ユリ科

花期:3月~4月

山麓や野原、土手などに生える多年草。葉は根元に2枚つき、高さ15~20cmの花茎の先端に、白地に暗紫色のすじの入った花を1個つける。鱗茎が甘く食べられるところから名付けられた。



ヒトリシズカ 一人静

科名:センリョウ科

花期:4月

山地の林下や日のあたる草地に生える多年草。10~20cmの茎を数本まとまって立てる。上部に2対の葉が対生、茎の先に穂状の白い花をひとつつける。この姿を静御前の舞姿に例えて名付けられた。



センボンヤリ 千本槍

科名:キク科

花期:4月~6月

9月~11月

山野に生える多年草。ロゼット状の葉の間から、春は10cmの花茎の先に白色の花をつける。秋には高さ30~60cmの茎の先に閉鎖花をつける。綿毛のある果実を槍に見立て名付けられた。



キラソウ 金瘦小草

科名:シソ科

花期:4月

畑や庭、道ばたなど人里のいたるところに生える多年草。茎は放射状に地を這い広がる。葉の脇に濃紫色の唇状花をつける。地を這う姿からジゴクノカマノフタとも云われている。



ジュウニキラソウ

十二金瘦小草

科名:シソ科

花期:4月~5月

キラソウとジュウニヒトエの自然交配種。乾燥気味の場所を好む多年草。葉はキラソウのようにロゼット状になり。茎は直立する。茎の上部に1cmの紫色の花を数個つける。



ウラシマソウ 浦島草

科名:サトイモ科

花期:4月~5月

平地や低山の野原や林に生える多年草。やや湿った場所を好む。花は仏炎苞に包まれた肉穂花序で、その先端を釣り糸のように長くのばす。この姿を浦島太郎の釣り竿に見たて名付けられた。



ムサシアブミ 武蔵鐙

科名: サトイモ科

花期: 4月～5月

林の中のやや湿った場所に生える多年草。葉柄の間から葉よりやや低い花柄を出し、仏炎苞に包まれた肉穂花序をつける。仏炎苞は白緑色で白いすじが目立ち、この形が鐙に似ていることから名付けられた。果実は赤く熟す。



ネコノメソウ 猫の目草

科名: ユキノシタ科

花期: 3月～5月

山地や丘陵の沢などの湿ったところに生える多年草。5～15 cmの花茎の先端に2 mmほどの淡黄色の小さな花を多数つける。果実は熟すと二つに割れ、中の種が猫の目に見えることから名付けられた。



フデリンドウ 筆竜胆

科名: リンドウ科

花期: 4月

山地や野原の日あたりのよいところに生える2年草。高さ5～10 cmの茎の先端に長さ2～2.5 cmの青紫色の花を上向きにつける。陽が陰ると花を閉じ筆のような形になる。



カキドオシ 垣通し

科名:シソ科

花期:4月~5月

野原や畑、道ばた、庭などどこにでも見られる多年草。茎は直立して高さ5~25 cmになる。花が終わると倒れ、節から根を出して広がる。葉のつけ根に淡紫色の唇形花を1~3個ずつつける。



アマドコロ 甘野老

科名:キジカクシ科

花期:4月~5月

山地や野原の日あたりのよい草地に生える多年草。茎には稜があり、高さ30~70 cmになる。葉のわきから二つに分かれた花柄を出し、その先に長さ2 cmほどの緑白色の花がぶらさがってつく。



ホウチャクソウ 宝鐸草

科名:イヌサフラン科

花期:4月~5月

山地や丘陵の林内に生える多年草。高さ30~60 cmになる。上部で枝分かれして、先端に2 cmほどの緑白色の花が1~3個ずつたれ下がる。花の形が寺院の宝鐸に似ていることから名付けられた。



ニガナ 苦菜

科名:キク科

花期:4月~5月

山地や野原のいたるところで見られる多年草。茎は細く、上部で枝分かれして 30~50cmになる。枝先に径 1.5cmほどの黄色い頭花をつける。葉や茎を切ると、苦味のある乳液を出すことからこの名がある。



カラスビシャク 烏柄杓

科名:サトイモ科

花期:5月~6月

山地の道ばたや畑に生える多年草。葉は 3 枚の小葉がある複葉。花茎は葉より高く 20~40cm になり、先端に緑色の長さ 5~7cm の仏炎苞に包まれた肉穂花序をつける。



キツネアザミ 狐薊

科名:キク科

花期:5月~6月

野原や道ばた、田畑などに生える 2 年草。高さ 60~90cm になり、枝先に紅紫色の頭花を上向きにつける。アザミのような刺はなく、葉裏は白い。名前はアザミと間違えるから。



サイハイラン 采配蘭

科名:ラン科

花期:5月~6月

山野のやや薄暗いところに生える多年草。葉は通常1枚で、30~40cmの花茎を出し、淡紫褐色の花を下向きに多数つける。この姿を、武将が合戦のときに使用した采配に見たてて名付けられた。



クジュウツリスゲ

久住吊菅

科名:カヤツリグサ科

花期:5月~6月

高さ50~60cmの多年草。長い花茎の先端に雄花、下方に雌花をつける。北九州その他に隔離分布する希少種。最近、浅間山で生育しているのが判明した。今後、種保存の管理が必要。



ヤブレガサ 破れ傘

科名:キク科

花期:7月~8月

コナラやクヌギ林に多い多年草。春先の若い葉は破れた傘に似ている。名前もこれによるので春の花に入れた。夏には花茎の先に白または淡紅色の花をつける。

夏





ヒルガオ 昼顔

科名:ヒルガオ科

花期:6月～8月

日あたりのよい野原や道ばたなどに生えるつる性の多年草。葉のつけ根から長い花柄を出し、日中に直径5cm程度の淡紅色の花を1個つける。



ホタルブクロ 蛍袋

科名:キキョウ科

花期:6月～7月

山野や丘陵などに生える多年草。茎は40～80cmになり、紅紫色または白色の鐘形の花をつける。子供が花に蛍を入れて遊んだのが名前の由来。



ユウゲシヨウ 夕化粧

科名:アカバナ科

花期:7月～9月

熱帯アメリカ原産の多年草。観賞用に栽培されたものが野生化して、空地や野原、道ばたでよく見られる。高さ30～50cmの茎の上部に直径1.5cmほどの紅紫色の花をつける。



ママコノシリヌグイ

継子の尻拭

科名:タデ科

花期:5月~10月

野原や道ばたに生えるつる性の多年草。茎には刺があり、枝分かれして長さ1~2mのつるをのばす。枝先に金平糖のような小さな花をつける。



オカトラノオ 岡虎の尾

科名:サクラソウ科

花期:6月~7月

山野や丘陵などの日あたりのよい草地に多い多年草。高さ60~100cmの茎の上部に白い小さな花が長さ10~30cmの穂になって多数つく。その姿が虎の尾に似ているので名付けられた。

。



カラスウリ 烏瓜

科名:ウリ科

花期:8月~9月

林のふちや野原などで見られるつる性の多年草。8~9月の夕方に白い大きな花を咲かせる。花冠のふちに白い糸がレース状に広がるのが特徴。秋に赤く熟した果実も美しい。



オオバトンボソウ

大葉の蜻蛉草
科名:ラン科
花期:6月~7月

山地や丘陵の林床に生える多年草。高さ 25~60cm の茎の先に、1cm ほどの淡緑色の花を 10~25 個穂状につける。花の形がトンボに似ているので名付けられた。東京都絶滅危惧種。



イヌゴマ 犬胡麻

科名:シソ科
花期:7月~8月

山野の湿地に生える多年草。細長い地下茎を伸ばして繁殖する。高さ 30~70cm の茎は四角形で直立する。先端に 1.2~1.5cm の薄紫色の唇形花を輪生状につける。



シオデ 牛尾菜

科名:サルトリイバラ科
花期:7月~8月

山野に生える多年草。雌雄異株。茎はよく枝分かれして、巻きひげで他のものに絡まってのびる。葉腋から散形花序を出し淡黄緑色の花を多数つける。若芽は山菜として食され、山のアスパラと呼ばれている。



ネジバナ 振花

科名:ラン科

花期:7月~8月

日あたりの良い野原の芝地や田の畔、土手などに生える多年草。葉の間から高さ 10~30cmの花茎をだし、5 mmほどの桃紅色の鐘形の花を多数つける。花穂が振じれるのが名前の由来。



ヒヨドリバナ 鶉花

科名:キク科

花期:7月~8月

山地のやや乾いたところに生える多年草。高さ 1~2mの茎の上部で枝分かれして、枝先に多数の白い頭花をつける。ヒヨドリの鳴くころ、花が咲くので名付けられた。



オオバギボウシ

大葉擬宝珠

科名:キジカクシ科

花期:7月~8月

山地の草原や丘陵地などに生える多年草。長さ 30~40cmの葉は根生する。葉の間から高さ 50~100cmの花茎の先に白色または淡紫色の花を多数つける。若葉は山菜として食される。



ヤブカンゾウ 藪萱草

科名:ススキノキ科

花期:7月～8月

道ばたや土手、林の縁などに咲く多年草。ノカンゾウより全体に大きい。高さ 80～100 cmになる茎の先端に、直径 8cmほどの橙赤色の花を咲かせる。雄しべと雌しべが花弁のようになり八重咲きとなる。



ノカンゾウ 野萱草

科名:ススキノキ科

花期:7月～8月

野原や小川のほとりなどに生える多年草。高さ 70～80 cmの太い花茎を出す。先端は二つに枝分かれして、各々10個ほどの橙赤色の花を次々に咲かせる。若葉は甘味があり食べられる。



アキノタムラソウ

秋の田村草

科名:シソ科

花期:7月～9月

山野の道ばたや林の縁などに生える多年草。高さ 20～80cmの茎の上部で枝分かれして 10～25cmの花穂を出し、先端に長さ 1～1.3cmの青紫色の唇形花を輪生状につける。



ヒメヤブラン 姫薺蘭

科名:キジカクシ科

花期:7月~8月

日あたりの良い草地などに生える常緑の多年草。葉より短い高さ10~15cmの花茎はやや扁平で翼がある。その上部に直径1cmほどの淡紫色の花を上向きにまばらにつける。



ジャノヒゲ 蛇の髭

科名:キジカクシ科

花期:7月~8月

山野の林床に生える常緑の多年草。葉より短い高さ10cmほどの花茎を出し、5~10個ほどの淡紫色の花を下向きにつける。緑の葉と瑠璃色の果実は美しい。別名のリュウノヒゲは細い葉を竜の髭に例えたもの。



ダイコンソウ 大根草

科名:バラ科

花期:6月~8月

山野や谷川のへりなどに生える多年草。茎は20~60cmになり、上部はまばらに枝分かかれし、先端に径1.5~2cmの黄色い5弁花を数個つける。果実は直径1.5cmの集合果。



コバノカモメヅル

小葉の鷗蔓

科名:キョウチクトウ科
花期:7月～9月

山野の林縁や土手などに生えるつる性の多年草。花序は葉腋ごとに多くつけ、花柄の先は数個に分岐して、径 1cm ほどの小さな暗紫色の細い星形の花をまばらにつけ、種には綿毛がある。



ヤブミョウガ 菝葜荷

科名:ツユクサ科
花期:7月～9月

山野の林の中に生える多年草。5月頃芽を出し、7月下旬には高さ 50～100cm になり、茎の上部に径 1cm ほどの白い花を多数つける。葉がミョウガに似ているのが名前の由来。



ヤブラン 菝葜

科名:キジカクシ科
花期:8月～9月

山地の木陰に生える常緑の多年草。葉は根生して、葉の間から高さ 30～50cm の花茎がのび、上半分に 8～12cm の花序を出して薄紫色の小さな花を多数つける。果実は黒色。



ヒヨドリジョウゴ 鴨上戸

科名:ナス科

花期:8月~9月

山野に生えるつる生の多年草。花のつく枝は葉と対生の位置に出て、ふたまた状に分かれ先端に1cmほどの白い花をつける。秋には果実は真っ赤に熟し、ヒヨドリが好んで食べることから名付けられた。



ヘクソカズラ 屁糞葛

科名:アカネ科

花期:8月~9月

日あたりのよい草藪や林のふちに多いつる性の多年草。葉のわきから短い集散花序を出し、中央が赤い長さ1cmほどの白い花をつける。花や葉をもむと悪臭がすることから名付けられた。別名ヤイトバナ。



ツリガネニンジン

釣鐘人参

科名:キキョウ科

花期:8月~9月

山野や高原などに生える多年草。茎の上部に数段に分かれて2cmほどの釣鐘形の淡紫色の花を下向きにつける。花の形と、白い太い根が朝鮮人参に似ていることから名付けられた。



ミズタマソウ 水玉草

科名:アカバナ科

花期:8月~9月

山野の木陰に生える多年草。高さ 20~60cm になる茎の先や上部の葉腋から 15cm ほどの花序を出し、白または淡紅色の小さな花をつける。球形の果実が濡れると水玉に見えることから名付けられた。



メヤブマオ 雌藪苧麻

科名:イラクサ科

花期:8月~9月

山野の道ばたや林床などの半日陰を好む多年草。高さ 1~1.2m になる。ヤブマオと比べて葉は薄く、花穂はほっそりしている。雌花の間に間隔がある。



センニンソウ 仙人草

科名:キンポウゲ科

花期:8月~9月

日あたりの良い林や道ばたに生えるつる性の多年草。茎はよく枝分かれして広がる。葉腋に 2~3cm の白い花を多数つける。羽毛状の果実の花柱を仙人の髭に見たて名付けられた。

秋





ワレモコウ 吾亦紅

科名:バラ科

花期:9月~10月

山野の日あたりのよい草地に生える多年草。茎は高さ 70~100 cmになる。枝先に暗紅色の小さな花が多数集まって1~2 cmの花穂をつけ、上から下へ咲きすすむ。花には花弁がない。



ノコンギク 野紺菊

科名:キク科

花期:8月~11月

山野にごく普通に生える多年草。よく枝分かれして高さ 50~100 cmになる。頭花は径 2.5 cmほどになり、外側を淡紫色の舌状花がとりまき、中央には黄色の筒状花が集まる。



ナンバンギセル 南蛮煙管

科名:ハマウツボ科

花期:8月~9月

ススキなどのイネ科の根に寄生する1年草。茎はほとんど地上に出ず10~20 cmのパイプ状の花柄を出し、先端に淡い紫紅色の花を咲かせる。名前はこの姿が南蛮人が使うパイプに似ていることに由来する。



アキカラマツ 秋唐松

科名:キンボウゲ科

花期:7月～10月

山野や草原の日あたりのよいところに生育する多年草。高さ 50～150cm になり上部はよく枝分かれする。茎の先に円錐花序を出し、淡黄白色の小さい花を多数つける。



ミズヒキ 水引

科名:タデ科

花期:8月～10月

山野の林のふちなどに多い多年草。高さ 40～80cmになる。茎の上部に、小さな花をまばらにつける。花を上から見ると赤く、下から見ると白く見えるところから、紅白の水引に例えて名付けられた。



キンミズヒキ 金水引

科名:バラ科

花期:8月～10月

山野の道ばたや草地に生える多年草。茎や葉に毛が多く、葉は 5～9 枚の小葉からなり、茎は高さ 30～80 cmになる。茎の先に細い花穂を数個出し、径 1 cmほどの黄色い花を多数つける。



ヤブタバコ 藪煙草

科名:キク科

花期:9月~10月

人家近くの藪や林などに生える1~2年草。高さ50~100cm。先端付近の茎から水平方向に枝を出して、葉のつけ根に黄色い花を下向きにつける。



コヤブタバコ 小藪煙草

科名:キク科

花期:8月~9月

山野の林縁や道ばたなどで見られる2年草。高さ50~80cmになり、茎は太くよく枝分れて、その先端に径1.5cmほどの緑白色の頭花を下向きに1個つける。頭花の基部に2~5cmの細い苞葉が反りかえって多数つく。



ガングビソウ 雁首草

科名:キク科

花期:8月~9月

山地の木陰に生える多年草。高さ25~50cmになる。茎の上部に径6~8mmの黄色い頭花を横向き又は下向きにつける。頭花が基部で曲がって下を向く姿がキセルの雁首に似ているのが名前の由来。



ツルボ 蔓穂

科名:キジカケシ科

花期:8月～9月

山野の日あたりのよい草地に生える多年草。群生することも多い。葉の間から20～40cmの花茎を出し、その先端に4～7cmの総状花序をつけ、淡紫色の花を数多くつける。



ススキ 薄、芒

科名:イネ科

花期:9月～10月

山野にごく普通に生える大型の多年草。秋の七草の一つ。高さ1～1.5mになる。茎の先端に長さ20～30cmの大きな花穂をつける。茎は多数束になって大きな株をつくり群生する。



スズビトハギ 盗人萩

科名:マメ科

花期:7月～10月

野原や道ばたなどに生える多年草。高さ60～120cm。葉腋から花序を出し、長さ6～9mmの淡紅色の蝶形花をまばらにつける。果実は衣服などに付着して運ばれ繁殖する。



アキノゲシ 秋の野芥子

科名:キク科

花期:8月～10月

山野の日あたりのよいところに生える高さ 1.5～2mになる大型の1～2年草。茎の上部に淡黄色の頭花を円錐状に数多くつける。頭花は 2cmほどの舌状花だけでできている。



ノハラアザミ 野原薊

科名:キク科

花期:8月～11月

草地や林のふちなどに生える多年草。高さ 50～100cm。枝先に紅紫色の頭花を上向きにつける。葉は中裂して棘がある。花期にも根生葉が残る。



トネアザミ 利根薊

科名:キク科

花期:9月～11月

ナンブアザミの変種で、関東地方の山地にごく普通に見られる多年草。高さ 1～2mと大きい。頭花は紅紫色で横向きに咲くのが特徴。葉には太くて長い棘がある。別名タイアザミ。



イヌタデ 犬蓼

科名:タデ科

花期:7月～10月

野原や道ばた、畑、空地などでごく普通に見られる1年草。茎は高さ20～50cmになる。枝先に2～5cmの花穂を出し、紅紫色の小さな花を密につける。
別名アカマンマ。



オトコエシ 男郎花

科名:オミナエシ科

花期:8月～9月

山野の草地や林の中の日あたりのよいところに多い多年草。高さは1mほどになる。花序は枝分かれして白い小さな花を多数つける。黄色のオミナエシ(女郎花)に比べて茎も太く男性的。



シラヤマギク 白山菊

科名:キク科

花期:8月～10月

山地や丘陵などのやや乾いたところに生える多年草。高さ1～1.5mになる。頭花は径2cmほどで舌状花の数は少なく中心の筒状花は黄色。春の若苗はヨメナに対してムコナとよんで食用になる。



ドハギ 目処萩

科名: マメ科

花期: 9月

日あたりのよい草地や道ばた、河原などに生える多年草。高さ50～100 cmになる。葉は1～2.5 cmと小さく、茎や枝を覆いつくす。葉のつけ根に長さ7mmの淡黄色の花を2～4個ずつつける。



ネコハギ 猫萩

科名: マメ科

花期: 9月

日あたりのよい、草地や道ばたなどの乾いたところに生える多年草。茎は根もとで枝分かれして、地面をはって長くのびる。葉のつけ根に7～8 mmの白色蝶形花を3～5個ずつつける。名前の由来は全体に軟毛が多いことから。



ナンテンハギ 南天萩

科名: マメ科

花期: 9月～10月

山野の日あたりのよい草地に生える多年草。葉のつけ根に総状花序を出し、紅紫色の1.5cmほどの蝶形花を多数つける。別名フタバハギ。



キツネノマゴ 狐の孫

科名:キツネノマゴ科

花期:8月～10月

野原や道ばたなどにごく普通に見られる1年草。茎は角の鋭い四角形で高さは10～40cm。枝先に1～3cmの穂状花序を出し、淡紫色の小さな唇状花をつける。



ヤブマメ 菝葜豆

科名:マメ科

花期:9月～10月

林のふちなどの日あたりのよいところに生えるつる性の1年草。茎は細く長く伸び、毛が密に生える。葉のつけ根に長さ1.5～2cmの淡紫色の蝶形花をつける。秋には閉鎖花を地中にもつける。



ノダケ 野竹

科名:セリ科

花期:9月～10月

山野にふつうに生える多年草。高さは80～150cmになる。枝先に暗紫色の小さな花がびっしり集まった複散形花序を出す。果実にはカレーのような香りがある。



オケラ 朮

科名:キク科

花期:9月~10月

日あたりのよい乾いた草地や林のふちになどに生える多年草。高さ30~60cmになる。枝先に1.5~2cmの白色の頭花をつける。若芽のうちは柔らかく食用にされる。昔ウケラといわれ万葉集にも詠われている。



アキノキリンソウ

秋の麒麟草

科名:キク科

花期:9月~10月

山地や丘陵の日あたりのよいところに生える多年草。高さ30~80cmになる。茎の上部に黄色い頭花を総状に多数つける。近年減少している。



リンドウ 竜胆

科名:リンドウ科

花期:10月~11月

山野に生える多年草。高さ30~80cmになる。茎の先や上部の葉腋に4~5cmの青紫色の鐘形の美しい花をつける。花は晴れた暖かい日に開く。日本の秋を代表する花のひとつ。



樹木



ウグイスカグラ 鶯神楽

科名: スイカズラ科

花期: 4月～5月

落葉低木。

春に淡紅色の漏斗状の花を下向きにつける。初夏に熟す赤い果実は生食できる。冬には葉のつけ根が広がって鏢状になる。



コブシ 辛夷

科名: モクレン科

花期: 3月～5月

落葉高木。

早春、まだ葉を開く前に、枝一杯に白い花をつける。かつて北国では農作業を始める目安になっていた。果実がこぶ状で拳に似ていることが名前の由来である。



ヒサカキ 柃、姫柃

科名: モッコク科

花期: 3月～4月

常緑小高木。

葉の腋に淡黄色の花を下向きにつける。雄花は壺型、雌花は鐘型で都市ガスに似た独特の臭いがする。サカキがない関東以北では玉串や仏花として利用されている。





ニワトコ 接骨木

科名:レンプクソウ科

花期:3月~5月

落葉低木。

春に房状の黄白色の花をつける。夏に果実が赤く熟す。髄は顕微鏡の試料を作る時に支持材として使われる。



クロモジ 黒文字

科名:クスノキ科

花期:3月~4月

落葉低木。

秋には黄葉する。春に新芽と同時に黄緑色の花をつける。若枝は緑色で黒い斑紋がでる。枝に芳香があり高級楊枝の材料となる。



クサボケ 草木瓜

科名:バラ科

花期:4月~5月

落葉小低木。

春の訪れを告げる花のひとつ。鮮やかな朱紅色の花をつける。果実は黄色で芳香があり薬用酒などにされる。日本の自生種で、中国原産のボケより小さい。別名シドミ、ジナシ。





ヤマザクラ 山桜

科名:バラ科

花期:3月~4月

落葉高木。

日本の桜の代表的な基本野生種。吉野の桜も本種。葉芽と花が同時に開くことが多い。若葉や葉柄に赤みがある。



イヌザクラ 犬桜

科名:バラ科

花期:4月~5月

落葉高木。

樹皮の色から別名シロザクラ。花は白いブラシ状で、よく似たウワミズザクラと違い花序の下部に葉がない。中山のイヌザクラは「府中の名木百選」。



ウワミズザクラ 上溝桜

科名:バラ科

花期:4月~5月

落葉高木。

白く小さな花が集まりブラシ状の花穂になる。花序の下部に葉がつくのがイヌザクラと違い、樹皮は黒い。果実は赤から黒に熟し果実酒などに使われる。





サルトリイバラ 猿捕蒺

科名:サルトリイバラ科

花期:4月

落葉つる性木本。
雌雄異株で春に淡黄色の花をつけ、秋に果実が赤くなる。茎には棘がある。関西以西では丸い葉を柏餅を包むのに使われている。別名サンキライ。



ヤマツツジ 山躑躅

科名:ツツジ科

花期:4月～5月

半常緑低木。
日本の野生ツツジの代表種。花は朱色。春葉は秋に落葉し、春葉より小さい夏葉は越冬する。そのため半常緑といわれている。



イヌシデ 犬四手

科名:カバノキ科

花期:4月～5月

落葉高木。
樹皮は灰白色で縦に網目模様がある。和名は花穂がしめ縄に使う紙垂(しで)に似るから。“おみたらし神社”のイヌシデは「府中の名木百選」。



コナラ 小楢

科名:ブナ科
花期:4月~5月

落葉高木。
浅間山の代表的な樹木。
春、若葉の芽吹きと同時に同株に雌雄の花をつけ、その年の秋にドングリになる。かつては薪や堆肥に利用されてきた。



クヌギ 栲、櫟

科名:ブナ科
花期:4月~5月

落葉高木。
花は雌雄同株で翌年の秋にドングリになる。ドングリは球状で、殻斗には線状の鱗片が多数ある。幹は厚いコルク状で縦に割れる。



カマツカ 鎌柄

科名:バラ科
花期:4月~6月

落葉小高木。
山地の日あたりのよい林縁に生える。枝先に約1cmの花を多数つける。名前の由来は、強靱で粘り強い材を鎌の柄にしたことから。別名ウシコロシ。



マユミ 檀、真弓

科名:ニシキギ科

花期:5月~6月

落葉低木。

雌雄異株。花は薄緑色で4弁の小花。果実は淡紅色で熟すと4裂して赤い種が現れる。紅葉も美しい。名前は材を弓にしたことから。



エゴノキ 野茉莉

科名:エゴノキ科

花期:5月~6月

落葉小高木。

春、多数の白い花を房状に下向きにつける。実がえぐいことから名前がついた。また果皮は有毒なサポニンを含んでいる。



ゴンズイ 権萃

科名:ミツバウツギ科

花期:5月~6月

落葉小高木。

花は黄緑色で小さい。秋に果実は赤く熟して肉質の果皮が裂け、黒い種が現れる。樹皮は黒紫色で白い縦長の筋が入る。





ミズキ 水木

科名:ミズキ科

花期:4月~5月

落葉高木。

枝をテーブル状に張り出し、独特の樹形となる。多数の白い花を上向きにつける。春先に多量の水を吸いあげることから名付けられた。



サワフタギ 沢蓋木

科名:ハイノキ科

花期:5月~6月

落葉低木。

よく溪流や湿地を覆うように枝を広げている。5月頃、長い雄しべが目立つ白い花を咲かせる。秋に美しい瑠璃色の実をつける。



イボタノキ 水蠟樹

科名:モクセイ科

花期:5月

落葉低木。

先が4裂した筒状の白い花が固まって咲く。葉は楕円形で柔らかい。樹皮に寄生するイボタロウムシからイボタ蠟をとり家具の艶出しに使用される。



ネジキ 振木

科名: ツツジ科

花期: 5月～6月

落葉小低木。

花序は水平、下向きに白い壺状の花を等間隔に咲かせる。名前は幹が振れることから。樹皮が縦に剥がれるので振れが判る。



ノイバラ 野茨

科名: バラ科

花期: 5月～6月

つる性低木。

野生のバラの代表種。ノバラともいう。花は白色あるいは淡紅色で長期間楽しめる。秋には果実が赤く熟す。



ヤマウコギ 山五加木

科名: ウコギ科

花期: 5月～6月

落葉低木。

雌雄異株。花は2mm程度で黄緑色。花柄は短く、花の固まりが葉に隠れる。幹に棘があり、果実は黒紫色。若葉は食用になる。





ガマズミ 莢蒾

科名:レンプクソウ科

花期:5月~6月

落葉低木。
明るい丘陵や草原に生える。葉は卵形で葉脈が目立つ。小さい白色の花が集って咲く。果実は赤く熟し食用となる。鳥も好む。



センダン 梅檀

科名:センダン科

花期:5月~6月

落葉高木。
成長が早い。薄紫色の小さい花を多数円錐状につける。黄褐色に熟した実は秋の落葉の後も残り、よく目立つ。



ウツギ 空木

科名:アジサイ科

花期:5月~6月

落葉低木。
白い花を房状につける。幹が中空であることから空木となった。別名ウノハナ。旧暦4月の卯月はウノハナの咲く月の意。



スイカズラ 吸い蔓

科名:スイカズラ科

花期:5月~6月

つる性常緑木本。

花は白色から黄色に変化する。よって金銀花とも言われる。また、別名のニンドウ(忍冬)は、常緑で冬を耐え忍ぶことから。



ムラサキシキブ 紫式部

科名:シソ科

花期:6月~8月

落葉低木。

日本各地の林などに自生する。薄紫色の小花の固りが対生の葉のつけ根から対になって出る。園芸種のコムラサキとよく間違えられる。



ヤマボウシ 山法師

科名:ミズキ科

花期:6月~7月

落葉高木。

白い4枚の総苞が花弁のように見える。果実は集合果で直径2cmほど、淡紅色のサッカーボールのような形をしている。熟すと甘い。





ヤマハギ 山萩

科名: マメ科

花期: 7月～9月

落葉低木。

山野に自生する。一般的にハギと言うとヤマハギのこと。枝垂れるのは園芸種のミヤギノハギでヤマハギは直立する。



クサギ 臭木

科名: シソ科

花期: 7月～9月

落葉小高木。

名前は葉に悪臭があることから。淡紅紫色の萼の先に白い花をつける。花には芳香あり。藍色の実と赤い萼の組み合わせがよく目立つ。



イイギリ 飯桐

科名: ヤナギ科

花期: 4月～5月

落葉高木。

小さい黄緑色の花が集まった円錐花序が垂れ下がる。落葉後も赤い実が残ってよく目立つ。葉で飯を包んだのでこの名がついた。



コメウツギ 小米空木

科名:バラ科

花期:5月~6月

落葉低木。

5mm程度の黄白色の花を多数つける。葉は中浅裂して重鋸歯を持つ。花が割れた米を連想させることから名付けられた。



ヒメコウゾ 姫楮

科名:クワ科

花期:5月

落葉低木。

雌雄同株。雄花は径1cmの球形。雌花は上部の葉腋につき、径5mmの球形で赤紫色の花柱が目立つ。和紙の原料。



ウメガサソウ 梅笠草

科名:ツツジ科

花期:6月~7月

常緑の草状小低木。

高さ5~10cm。葉には鋸歯があり、花茎の先に梅に似た白い花を下向きにつける。浅間山では、最近久しぶりに確認された。



索引

<ア> アキカラマツ	35	キンミズヒキ	35
アキノキリンソウ	42	キンラン	7
アキノタムラソウ	28	ギンラン	8
アキノノゲシ	38	クサギ	54
アマドコロ	20	クサボケ	45
アマナ	17	クジュウツリスゲ	22
イイギリ	54	クヌギ	48
イチヤクソウ	10	クロモジ	45
イヌゴマ	26	コウヤボウキ	12
イヌザクラ	46	コゴメウツギ	55
イヌシデ	47	コナラ	48
イヌタデ	39	コバノカモメヅル	30
イボタノキ	50	コブシ	44
ウグイスカグラ	44	コヤブタバコ	36
ウツギ	52	ゴンズイ	49
ウメガサソウ	55	<サ> サイハイラン	22
ウラシマソウ	18	ササバギンラン	8
ウワミズザクラ	46	サルトリイバラ	47
エゴノキ	49	サワフタギ	50
オオバギボウシ	27	シオデ	26
オオバノトンボソウ	26	ジャノヒゲ	29
オカトラノオ	25	ジュウニキランソウ	18
オケラ	42	シュンラン	16
オトコエシ	39	シラヤマギク	39
オニノゲシ	14	スイカズラ	53
<カ> カキドオシ	20	ススキ	37
ガマズミ	52	セイヨウタンポポ	15
カマツカ	48	センダン	52
カラスウリ	25	センニンソウ	32
カラスビシャク	21	センボンヤリ	17
ガンクビソウ	36	<タ> ダイコンソウ	29
カントウタンポポ	15	タチツボスミレ	16
キジムシロ	14	ツボスミレ	16
キツネアザミ	21	ツリガネニンジン	31
キツネノマゴ	1	ツルボ	37
キランソウ	18	トネアザミ	38

<ナ>	ナンテンハギ	40	<マ>	ママコノシリヌグイ…	25
	ナンバンギセル	34		マユミ	49
	ニガナ	21		ミズキ	50
	ニワトコ	45		ミズタマソウ	32
	ヌスビトハギ	37		ミズヒキ	35
	ネコノメソウ	19		ミツバツチグリ	15
	ネコハギ	40		ムサシアブミ	19
	ネジキ	51		ムサシノキスゲ	6
	ネジバナ	27		ムラサキシキブ	53
	ノイバラ	51		メドハギ	40
	ノカンゾウ	28		メヤブマオ	32
	ノゲシ	14	<ヤ>	ヤブカンゾウ	28
	ノコンギク	34		ヤブタバコ	36
	ノダケ	41		ヤブマメ	41
	ノハラアザミ	38		ヤブミョウガ	30
<ハ>	ハンショウヅル	11		ヤブラン	30
	ヒサカキ	44		ヤブレガサ	22
	ヒトリシズカ	17		ヤマウコギ	51
	ヒメコウゾ	55		ヤマザクラ	46
	ヒメヤブラン	29		ヤマツツジ	47
	ヒヨドリジョウゴ	31		ヤマハギ	54
	ヒヨドリバナ	27		ヤマボウシ	53
	ヒルガオ	24		ヤマユリ	9
	フデリンドウ	19		ユウゲショウ	24
	ヘクソカズラ	31	<ラ>	リンドウ	42
	ホウチャクソウ	20	<ワ>	ワレモコウ	34
	ホタルブクロ	24			

府中 浅間山四季の花々

平成 31 年 3 月 1 日第 1 刷発行

発行者：浅間山自然保護会

企画編集：浅間山自然保護会編集委員会

平成 24 年 4 月に発行した『浅間山四季彩々』の
改定版として編纂した。

(不許複製)

